

第28回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰受賞団体に、 木もれびの森の保全活動をしている「東若会」が選ばれました！

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰は、緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対し、その功績をたたえ、国民的運動としての緑化推進活動の模範として、国土交通大臣が表彰するものです。今回は、全国で133団体が受賞しました。

1 表彰式

日時 平成29年6月10日(土)午前10時20分から

会場 北陸電力会館本多の森ホール(石川県金沢市)

第28回全国「みどりの愛護」のつどい式典において行われます

とうわかかい

2 東若会プロフィール(平成29年4月末現在)

代表者 会長 吉田 六男(よしだ むつお)氏

設立年月 平成21年5月

会員数 21名

活動紹介

活動場所となっている「木もれびの森」は、市街地に隣接する総面積約73haの平地林で、昭和48年に近郊緑地特別保全地区に指定されました。かつては、人々の生活を支える薪炭林等として利用されていましたが、時代の変遷とともにその役割を終え、下草が生い茂る暗い森となっていきました。

そのような中、地元自治会が、平成18年4月に市との協働により「木もれびの森」東大沼・若松地区(約16ha)の保全活動を開始し、平成21年5月に、地域の樹林環境の向上、山野草や野鳥とふれあえる憩いの森づくりを目的に当会を結成しました。

平成22年5月には、市と「森づくりパートナーシップ協定」を締結し、年間を通じた下草刈りや間伐、散策路整備等の保全活動を続けており、現在では、都市部にありながら多様な動植物が生息・生育する良好な自然環境の保全が図られ、気軽に訪れることができる身近な森に生まれ変わり、広く市民に親しまれています。

問合せ先
水みどり環境課
直通電話：042-769-8242
担当：福田、坂井